

강충강충(カンチョン・カンチョン※)ウサギ

太宰府市国際交流員 キムシンヒョン 金辛洵

2023年、新年が明けました。새해 복 많이 받으세요 (明けましておめでとうございます)。今年卯年ということで、今回は皆さんに韓国のウサギにまつわる物語の一つである、「ウサギとスッポン」を紹介したいと思います。

ある日、竜宮城に住む竜王が大病にかり、医者に病気を治すにはウサギの肝が必要だと言われたため、使用人にウサギを連れて来るよう命じました。竜宮城の臣下たちが陸地が上がれず困っていたところ、スッポンが自分が行くと名乗り出ます。スッポンは陸地でウサギに出会うと、竜宮城にごちそうがあると嘘をつき、ウサギを竜宮城に連れて行きます。竜王が肝を欲しがると、ウサギはその時になってようやく自分が騙されたことを知り、自分の家に肝を置いてきたので、陸地に戻ると説得します。そうして陸地が上がったウサギは到着するやいなやすぐ逃げて生き残ったというお話です。

この話以外にも「ウサギの裁判」といって虎に食べられそうになった人間をウサギが知恵を発揮して救ってくれる話など、韓国でウサギは賢いイメージが強いのです。それに対して虎は間抜けな姿で描かれることが多く、韓国の昔話の中ではウサギが虎を騙す姿がよく登場します。

物語以外にも童謡や絵などでもよく登場し、韓国人にとってとても身近な動物であるウサギ。韓国も日本と同じく、月にウサギが住んでいると信じてきました。今年月を見るともう少し特別な気分になりそうですね。



※ 韓国での擬音で、日本でいう「ピョンピョン」のこと

その投稿
面と向かって
言えますか

太宰府西中学校2年 熊野 莉子さん
(応募時)



ハヤ ヤエ子
(太宰府市観世音寺区) 池坊流

花材 ゴヨウ松、椿、ハツアラシ、ヤブ椿

季節の生け花

太宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

九十五歳プロムシネットはしなやかに
シュベルトを振る椅子に掛けつつ
観世音寺 大久保 富士子
瑣末なる事と思へど一途なる
老のスマホの今日は聞き役
五条 大敷 晶代
十月の志賀島に来卒寿なる
夫と娘と渚を二人
朱雀 黒木 邦枝
刈り取りの終わりを待ちて畦道に
白さぎ四羽一列に並ぶ
通古賀 詫摩 典子
吉凶の大小の荒つばい
運に任せて夏の街行く
福岡市 竹森 祐彦

太宰府俳句会

持永 真理子 選
太宰府に歳を重ねて明の春
星ヶ丘 柴田 慧美子
胞衣宮へ道は一筋初詣
馬場 有岡 和砂
初春や戦なき世であれかしと
東観世 中島 祝乃
餌台に小さきバトル初雀
国分 松尾 満子
あるがまま生くと決めむ明の春
水城 福永 恵美

飛梅句会

介弘 紀子 選
蒼天や声を力に引く大根
観世音寺 野田 杉子
大きさを選びし大根もてあます
筑紫野市 羽野 喜久代
大根の白とて影の濃かりけり
青葉台 平野 香
カーテンを厚手に替へて冬構
青葉台 本山 晴子
ほとほと大根煮えてふるふきに
大佐野台 金丸 恵子

宝満句会

菅井 久美子 選
湖心へと水脈引く鳥や冬来る
星ヶ丘 江里口 幸生
凾や歓声ひびく競技場
東ヶ丘 竹家 京子
凾のさ迷ふらしき山の音
長浦台 徳賀 美智子
整然と並ぶ礎石や冬に入る
筑紫野市 名本 剛
立冬の空を突き刺す杉木立
高雄台 川路 泰子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選
月蝕や眠りより覚む鳥獸
福岡市 北川 朴洋子
稜線に傾ぐ三ツ星かくれなし
福岡市 宮津 英里子
車椅子止める一叢吾亦紅
青葉台 彦坂 正亨
秋高しゆるりゆるりと観覧車
福岡市 塩飽 たか子
閉店の貼り紙落ちて初時雨
筑紫野市 貞金 志帆

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選
子に渡すバトンは出来た今でしょう
観世音寺 松浦 ちえ
金のことならまず無理と予防線
松川 山根 清
ストレスが消えてゆつくり老い進む
大野城市 野田 茂生
一呼吸一步踏み出す検査室
観世音寺 河原 明子
糠床は母ストレスを癒される
国分 岸本 しずえ